令和7年度 宮城第一高等学校 「志教育」年間指導計画 (理数探究科)

3													
	COORIA Market black late t 国語 O O 地理歴史	かかわる	もとめる	はたす	公民	かかわる もとめる はたす	数学	もとめる はたす	理科	かかわる	ಕ್ರೀ ಶಿಕ್ಷ	はたす	
各	言語感覚を磨いてコミュニケー 宮城県や東北を	基点とし		及び	現代社会の諸課	題について主体的に・深めさせるとともに、	事象を数学的に考察	くし、筋道を	自然科学に対		理·法	則を	
	考力や創造力を伸ばし、総合的 就を深めることで	についての理解と認 で、日本及び国際社会 でる社会人として必			る家だと、全体を体のとという。 人間としての在り方や生き方について の自覚を育て、良識ある公民として必 要な能力と態度を育てる。		たてて考え、表現する能力を高め、判断力と問題解決能力を育てる。		理解し、実験・観察をとおして探 究心を高め、現代社会の基盤と なっている科学技術の発展に対 応できる資質を養う。				
	保健体育 〇 〇 芸術	0	0		外国語	0 0	家庭	0	情報	0	0		
教 科	心と体を一体として捉え、生涯に多様な表現の	実践を	とおして		英語の学習を	とおして、我が国	家庭生活の重要性を		変化の早い情	報社会	を生き		
指導目標	るための課題を発見し、自己の	ツライフを継続す 容する資質や能力を養う。また、 発見し、自己の 鑑賞をとおして日本や諸外国へ 力の向上を図る の文化的教養を深め、長く芸術			や外国の生活や文化に対する 関心を深め、多様なものの見方 や考え方を理解させるとともに、 自らの考えを英語で適切に表現 できる能力を養う。		深め、実践的・体験的な探究活動をとおして、様々な人々と恊働し、よりよい社会の構築に向け、主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を養う。		めに、これからの社会で必要とされる知識・技能を習得しながら、 正しい情報を活用・発信できる 思考力と判断力を育てる。				
	理数 〇 〇												
	探究活動や科目の授業をとおして、事象を多角的、複合的に捉え、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係等の科学的な視点から、比較したり関連付けたりする力を養う。												
	学年共通	かかわる	もとめる	はたす			各学年指導	自標					
	①自主性の育成	0	0		1		学習遂行と意欲的 責任ある参加等を						
指	②自律性の涵養	0	0		年	③志望学部や 進路希望を明確	大学研究とオープンキャンパス等への積極的参加を通じ、						
導	③学習時間の確保		0	0	2		適性の把握に努め 諸課題に計画的に			[成を]	図る。		
内容	④マナーの向上	0		0	年	③最上級生とし	、ての自覚と諸活動	加において打	旨導性を発揮	する。			
	⑤進路意識の高揚	O			3 年	②克服すべき	D能力適性の把握に努め、進路を決定する。 「べき諸課題に計画的に取り組み、進路目標の達成を図る。 吸生としての自覚と諸活動において指導性を発揮する。						
	指導内容	ねらい					指導教科等	実施時期	時数	かかわる	もとめる	はたす	
	基礎学力の定着度と学習力(学習習慣・学習方法等)に ついて把握[スタディサポート]				て、基礎学力の到達状況と学習状況 学習改善につなげる。		特別活動	4月	4	0	0		
	オリエンテーション・国数英ガイダンス・進路講話				的な学習態度の育成と基礎学力の向 を有意義に過ごすため方法を学ぶ。		授業·特別活動	4月	4	0	0		
1 年			100 1 7.						7	_			
	探究活動(探究基礎)		動にお		礎的なスキルを与 D関心を高める。	学び、適切な課題設	学校設定科目「探究」	通年	70	0	0		
	探究活動(探究基礎) 校内歌合戦の準備と発表	定や核主体性	活動にお 様々な分 生や創造	野への	D関心を高める。	ュニケーションや情	学校設定科目「探究」特別活動	通年 6~7月		© O	OO	0	
		定や核 主体性 報共存 外部課	話動にお 様々な分 生や創造 可能力を 講師の話	野への 性、責 高めな を聞き	D関心を高める。 任感を養い、コミ: ながら、協働的な学	ュニケーションや情			70			©	
	校内歌合戦の準備と発表	定や材 主体性報共有 外部課 や学習 2年次	野型におります。 ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま	野への 大き はっこう はっこう はっこう はっこう はっこう はっこう はっこう はっこう	D関心を高める。 任感を養い、コミ がら、協働的な学 、、志望校に合格す 「再検討させる。	ュニケーションや情で習を行う。 けるための学習計画	特別活動	6~7月	70 10	0	0	0	
年	校内歌合戦の準備と発表 進路講演会 基礎学力の定着度と学習カ(学習習慣・学習方法等)に	定主報 外や 2の 外や 2の 外部 部署 次男 部署	活動にない おかり 造様 はいまま はいまま はいまま はいまま はいま はいま はいま はいま はいま	野への きょう かい きょう	D関心を高める。 任感を養い、コミ たがら、協働的な学 こ、志望校に合格す 一再検討させる。 て、基礎学力の到 学習改善につなり	ュニケーションや情 と習を行う。 するための学習計画 リ達状況と学習状況 ずる。 実現に向けた志望大	特別活動 特別活動 特別活動	6~7月	70 10 3	0	© 0	0	
	校内歌合戦の準備と発表 進路講演会 基礎学力の定着度と学習力(学習習慣・学習方法等)について把握[スタディサポート]	定 主報 外や 2の 外学 設定 体件 部署 次男 部突 足	動な 創ま きず はか かまり はい かい いい い	野への きゃく きゅう きゅう きゅう はん	D関心を高める。 任感を養い、コミ がら、協働的な学 ま、志望校に合格す 再検討させる。 て、基礎学力の到 学習改善につない ことで、高い志の記 な方略について学	ュニケーションや情 と習を行う。 するための学習計画 リ達状況と学習状況 ずる。 実現に向けた志望大	特別活動 特別活動 特別活動	6~7月 6月 4月 5月	70 10 3 4	0	© O	0	
年	校内歌合戦の準備と発表 進路講演会 基礎学力の定着度と学習力(学習習慣・学習方法等)について把握[スタディサポート] 進路講演会	定主報 外や 2の 外学 設る 主 報 外や 生 辞 部 字 年 結 部 探 定経 体 は ま で よ ま で し い り し い い し い い し い い し い い し い い い い	野球 は いっぱい は いっぱい は いっぱい いっぱい かいい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい	野性高をつに自を体に究性、の責なでは、のの一、では、 はい はい はい はい いき しょうしん いき しょうしん いき しょうしん いき しょうしん いき しょうしん しょく	D関心を高める。 任感を養い、コミ がら、協働的な学 、志望校に合格す 、声望校に合格す で、基礎学力の至 でで、高い志の望 な方略について学 て、グループで研 義を学ぶ。	ユニケーションや情 ピ習を行う。 するための学習計画 川達状況と学習状況 ずる。 実現に向けた志望大 ぶ。 究し、それを発表す ユニケーションや情	特別活動 特別活動 特別活動 特別活動	6~7月 6月 4月 5月	70 10 3 4 2	0 0	OOO		
年	校内歌合戦の準備と発表 進路講演会 基礎学力の定着度と学習力(学習習慣・学習方法等)について把握[スタディサポート] 進路講演会 探究活動(理数探究)	定 主報 外や 2の 外学 設る 主報 外や 体共 部学 年結 部探 定経 体共 はい しい	野女 とり いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい かいいい いっぱい いっぱい いっぱい	野性高 をつ こ自 を体 に究 性高 でした けの くが いき 責な	D関心を高める。 任感を養い、コミュがら、協働的な学 、志望校に合格する 、本望校に合格する で、基礎学力ののなける でで、高い志の多 な方略について学 で、グループで研 義を養い、コミュ ながら、協働的な学	ユニケーションや情 ピ習を行う。 するための学習計画 川達状況と学習状況 ずる。 実現に向けた志望大 ぶ。 究し、それを発表す ユニケーションや情	特別活動 特別活動 特別活動 特別活動 学校設定科目「探究」 特別活動	6~7月 6月 4月 5月 通年	70 10 3 4 2 70	0 0	OOOO	0	
年	校内歌合戦の準備と発表 進路講演会 基礎学力の定着度と学習力(学習習慣・学習方法等)について把握[スタディサポート] 進路講演会 探究活動(理数探究) 校内歌合戦の準備と発表	定主報 外や 2の 外学 設る 主報 大を 3年 付 性本 計章 次昇 請写 に駒 性本 そる 3年 に り 性本 そる 3年 に り に な さ 3年 に り に す に り に す に り に か に か に か に か に か に か に か に か に か	断なく 創力 という いっぱい はい	野 性高 をつ こ自 を体 こ究 性高 を この 責だ けの ぱれ い意 責な 間 けい かっこ しゅう しゅうしゅう	D関心を高める。 住任感を養い、コミまがら、協働的な学 に、声検討させる。 て、事検討させる。 で、事後書につない。 で、高いいで研 こな方略についてで研 で、で、後を学表い、コミ にがら、協働的な学 引することで、見聞	ユニケーションや情 世習を行う。 するための学習計画 リ達状況と学習状況 ずる。 実現に向けた志望大 ぶ。 究し、それを発表す ユニケーションや情 世習を行う。 を広げ、将来の目標 リ達状況と学習状況	特別活動 特別活動 特別活動 特別活動 学校設定科目「探究」 特別活動	6~7月 6月 4月 5月 通年 6~7月	70 10 3 4 2 70	0 0 0 0	000000	0	
2年	校内歌合戦の準備と発表 進路講演会 基礎学力の定着度と学習力(学習習慣・学習方法等)について把握[スタディサポート] 進路講演会 探究活動(理数探究) 校内歌合戦の準備と発表 研修旅行(オーストラリア研修) 基礎学力の定着度と学習力(学習習慣・学習方法等)に	定主報 外や 2の 外学 設る 主報 大を 3の 外や 性者 請誉 次昇 請孥 し駗 性者 学名 次昇 請	活象なり 造を 話に びいこう いっぱい はかり 造を 話に びいこう いっぱい はいかい はいかい はいかい はいかい かい はい	野 性高 をつ こ自 を体 こ究 性高 を こ自 をの 責な きて けの くれ い意 責な 昆 けの くかい でいまい しゅく しゅく しゅく しゅく しゅく しゅく しゅうしゅく	D関心を高める。 住態を養い、コミネがら、協働的な学 、声望校に合る。 て、基礎等につない。 で学って、基礎等につない。 で学で、高いいで研 でで研 でがら、協働的なず。 では、本でで研 はない、コミネがのい。 はない、コミネがのい。 ででいるない。 はない、コミネがのい。 ででいるない。 でで研 はない。こことで、見聞 で、著で学さい。 で、見聞 で、ことで、見聞 で、ことで、ここいの。 で、ことで、こことで、ここにいる。 できまない。ここでは、こことで、ここにいる。 できまない。ここにいる。 でいるにいるにいる。 でいるにいるにいる。 でいるにいるにいるにいるにいるにいる。 できまない。ここにいるにいるにいるにいるにいるにいるにいるにいるにいるにいるにいるにいるにいるに	ユニケーションや情 世習を行う。 するための学習計画 リ達状況と学習状況 ずる。 実現に向けた志望大 ぶ。 究し、それを発表す ユニケーションや情 世習を行う。 を広げ、将来の目標 リ達状況と学習状況	特別活動 特別活動 特別活動 特別活動 学校設定科目「探究」 特別活動	6~7月 6月 4月 5月 通年 6~7月	70 10 3 4 2 70 10 40	0 0 0 0		0	
年	校内歌合戦の準備と発表 進路講演会 基礎学力の定着度と学習力(学習習慣・学習方法等)について把握[スタディサポート] 進路講演会 探究活動(理数探究) 校内歌合戦の準備と発表 研修旅行(オーストラリア研修) 基礎学力の定着度と学習力(学習習慣・学習方法等)について把握[スタディサポート]	定 主報 外や 2の 外学 設る 主報 大を 3の 外な 学や 枝井 部学 年結 部探 定経 体共 学得 年結 部い 問 れ 代本 計算 次身 調할 り	舌束 生年能 一番	野 性高 をつ に自 を体 に究 性高 を に自 をを とへ、め 聞い 向こ 聞的 つの よめ 訪 向己 聞確 志の 責め 訃 けの く談 智	D関心を養い、コミュ はがら、協働的な学 、声望校に合る。 て、事検討させる。 で学って、事を学って、事でで、のので、 で、方略について、 で、で、が、のので、で、 、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、のので、で、で、で、	ユニケーションや情 管習を行う。 するための学習計画 はま状況と学習状況 ずる。 実現に向けた志望大 究し、それを発表す ユニケーションや情 習を行う。 を広げ、将来の目標 がある。 の実現に向けた諦め について、保護者に	特別活動 特別活動 特別活動 学校設定科目「探究」 特別活動 特別活動 特別活動	6~7月 6月 4月 5月 通年 6~7月 12月 4月	70 10 3 4 2 70 10 40	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		0	
年 2年 3	校内歌合戦の準備と発表 進路講演会 基礎学力の定着度と学習力(学習習慣・学習方法等)について把握[スタディサポート] 進路講演会 探究活動(理数探究) 校内歌合戦の準備と発表 研修旅行(オーストラリア研修) 基礎学力の定着度と学習力(学習習慣・学習方法等)について把握[スタディサポート] 進路講演会	定 主報 外や 2の 外学 設る 主報 大を 3の 外な 学対 探や 性本 部学 年結 部探 定縣 性本 学得 年結 部い 問し 究 で で なり 計算 分り アンドラ かん アンドラ かん アンドラ かん アンドラ かん アンドラ かんしん アンドラ かんしん アンドラ かんしん アンドラ かんしん アンドラ かんしん アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ	新東な も前に かん ちゅう いっぱい かいます はい いな 割力 のみ 等の かいま 学ら、のの まい かい	野 性高 をつ こ自 を体 こ究 性高 を こ自 をを とこ 論へ、め 聞い 向己 聞節 つの きあ 向己 聞確 志説 文の 責を 計 けの く対 い意 責を 計 けの く数 誤 文	D関心を養い、コミュース にはいる。 に任感を養い、コミュース にはいる。 はいるない に再検討させる。 て、著礎等について、表でについて、表を学って、一次のでは、これでは、これでは、これで、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	ユニケーションや情 管習を行う。 するための学習計画 はま状況と学習状況 ずる。 実現に向けた志望大 究し、それを発表す ユニケーションや情 習を行う。 を広げ、将来の目標 がある。 の実現に向けた諦め について、保護者に	特別活動 特別活動 特別活動 学校設定科目「探究」 特別活動 特別活動 特別活動 特別活動	6~7月 6月 4月 5月 通年 6~7月 12月 4月 5月	70 10 3 4 2 70 10 40 4	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		© © O	
年 2年 3	校内歌合戦の準備と発表 進路講演会 基礎学力の定着度と学習力(学習習慣・学習方法等)について把握[スタディサポート] 進路講演会 探究活動(理数探究) 校内歌合戦の準備と発表 研修旅行(オーストラリア研修) 基礎学力の定着度と学習力(学習習慣・学習方法等)について把握[スタディサポート] 進路講演会 保護者向け進路プレゼンの準備	定 主報 外や 2の 外学 設る 主報 大を 3の 外な 学対 探見 主や 付 作本 請音 次身 請孥 足縣 作本 そる 次身 請強 分で をめ 作体 作本 請音 次身 請孥 し縣 作本 そる 次身 請強 分で をめ 作	野東 生年能 師写 のみ 隣や たか 生作 企。 のみ 隣い 野論 継直 しょな 創力 の法 学ら、のの 課い 創力 業 学ら、の意 探理 続し、創造 を等 以に 話恵 探的 し、創造	野 性高 をつ こ自 を体 こ究 性高 を こ自 をを とこ 論路 へ、め 聞い 向己 聞的 つの 、め 訪 向己 聞確 志説 文探 責の 責を 問いている 音で とこ 論路 文探 責	D関心を養い、コミディがら、協働的な特別である。 は任感を養働的な学 に再検討させ かっかい できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる	ユニケーションや情 空習を行う。 するための学習計画 はま状況と学習状況 ずる。 実現に向けた志望大 究し、それを発表す ユニケーションや情 を広げ、将来の目標 がる。 の実現に向けた諦め にった再確認する。 に、自分のキャリアを ユニケーションや情	特別活動 特別活動 特別活動 特別活動 学校設定科目「探究」 特別活動 特別活動 特別活動 特別活動	6~7月 6月 4月 5月 通年 6~7月 12月 4月 5月	70 10 3 4 2 70 10 40 4 2 3	0 0 0 0 0		© © O	